

## ホームページ掲載文書

当院において2008年1月1日～2017年12月31日に、中枢神経原発悪性リンパ腫に対し  
頭部放射線治療を受けた患者さんへ研究協力のお知らせ

川崎医科大学 放射線腫瘍学教室では、下記研究を実施します。  
研究期間は、倫理委員会承認日～2021年12月31日の予定です。

### 1. 研究の対象

この研究は、2008年1月1日から2017年12月31日の間に当院で中枢神経原発悪性リンパ腫に  
対する頭部放射線治療を受けられた患者さんを対象としています。

### 2. 研究の概要、目的と方法

この文書は、臨床研究「当院における中枢神経原発悪性リンパ腫の治療の実態把握と放射  
線治療後の認知機能の検討」の内容についてお知らせするものです。

中枢神経原発悪性リンパ腫に対する放射線治療は、数あるリンパ腫治療のなかでも、特に患者さ  
んの生活の質に大きく寄与するため、重要な治療の一つです。最近、放射線治療だけでなく、さ  
まざまな治療の領域において、治療技術、機器や新薬の開発の発展に伴う予命の延長が報告され  
ており、いかに生活の質を維持・改善するかが重要な問題点となりつつあります。

中枢神経原発悪性リンパ腫に対する頭部放射線治療は、古くから放射線単独治療として行われて  
きましたが、今後、他の治療法を併用し、放射線の線量を抑えたり、照射範囲を縮小し副作用（特  
に認知機能障害）を軽減させるなどの個別最適化と今後の臨床研究データの蓄積が望まれていま  
す。

今回、2008年～2017年に中枢神経原発悪性リンパ腫に対する頭部放射線治療を受けた患者さんを  
対象として、治療の内容、治療別の効果と副作用（特に認知機能障害）を明らかにする実態調査  
研究が、当院の放射線腫瘍学教室で行われます。

調査内容は、中枢神経原発悪性リンパ腫の頭部放射線治療前後の症状、検査結果、治療の内容、  
治療の効果と副作用（特に認知機能障害）について過去の診療録の閲覧調査が行われます。この  
調査のための新たな検査項目はありません。また、必要に応じて、診断に用いた病理標本、およ  
び放射線治療計画に用いた画像データを匿名化して、調査に使用する場合があります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、中枢神経原発悪性リンパ腫に関する検査結果・治療内容・治療効果と副作用（特  
に認知機能障害）などのデータを収集します。

### 4. この調査研究全体の責任者・お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

川崎医科大学 放射線腫瘍学教室 講師 釋舎 竜司  
住所 〒701-0192 倉敷市松島 577  
電話 086-462-1111 FAX: 086-464-1132  
電子メール: radoncol@med.kawasaki-m.ac.jp

#### 5. 利益相反

本研究は学内研究費を使用して行われます。なお、研究結果に影響を及ぼしかねない企業等からの資金受け入れはありません。